

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	清水町きずな園			
○保護者評価実施期間	2024年11月5日 ～ 2024年11月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数)	29人
○従業者評価実施期間	2024年11月5日 ～ 2024年11月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である。	支援室は全部で5部屋あります。利用児童の発達段階や特性に合わせて、支援室を割り当てています。そのうち1部屋は、リラックスできる空間「スヌーズレンルーム」としています。	5部屋ある支援室のうち、エアコンが設置されているのは1部屋のための、夏場の暑い時期には、扇風機やスポットクーラーで対応しました。
2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	毎月、個別支援計画検討会議を実施し、モニタリング期間を迎えた利用児童の評価を行っています。この評価をもとに本人と家族のニーズを照らし合わせ、実現できそうな具体的な目標を立てた個別支援計画を作成しています。	個別支援検討会議前に相談支援事業所の相談支援専門員が保護者と面談し、保護者、本人のニーズを確認した上で、会議が開催されるように保護者との面談、会議の日程調整を上手に組み合わせて行っています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に関する評価が低い。	年1回役場と合同で避難訓練を実施し、園だよりでも伝えていた。しかし避難訓練が午前10時開始となることが多く、参加する対象児に限られるためか、保護者全体に訓練日時や実施した内容等正しく理解されていない部分も大きい。	避難訓練実施前に日程が分かり次第、保護者へ周知します。また避難訓練の様子なども後日園だよりで報告しますが、それ以外の方法(ラインや役場のHP等)での周知も検討していきます。
2			
3			